

- ◆ 北海道や苫小牧港において北海道産農水産品の輸出拡大に向けた取り組みを進めている中、小ロットの貨物をまとめて海上輸送する際に有効的な小口混載コンテナ貨物輸送サービスが普及していないことが課題。
- ◆ 苫小牧港利用促進協議会では、小口混載コンテナ貨物の定期輸送を実現させることにより、荷主へのサービス普及を図るため、貨物利用運送事業者(フォワーダー)に対して支援を行う事業を令和元年度に創設。
- ◆ 小口混載コンテナ輸送サービスをより浸透させるため、令和3年度においても支援事業者の公募を行い、継続事業としてナラサキスタックス(株)の台湾便、苫小牧埠頭(株)のシンガポール便、(株)栗林商会苫小牧支社の香港便をそれぞれ支援対象とした。

<事業概要>

現状・課題 : ①貨物不足時に貨物利用運送事業者の負担が大きい
②サービスに定期性がなく貨物が集まらない

事業目的 : 定期小口混載コンテナ輸送サービスの普及
北海道産の農水産物、加工食品等の輸出促進
苫小牧港の利用拡大 等

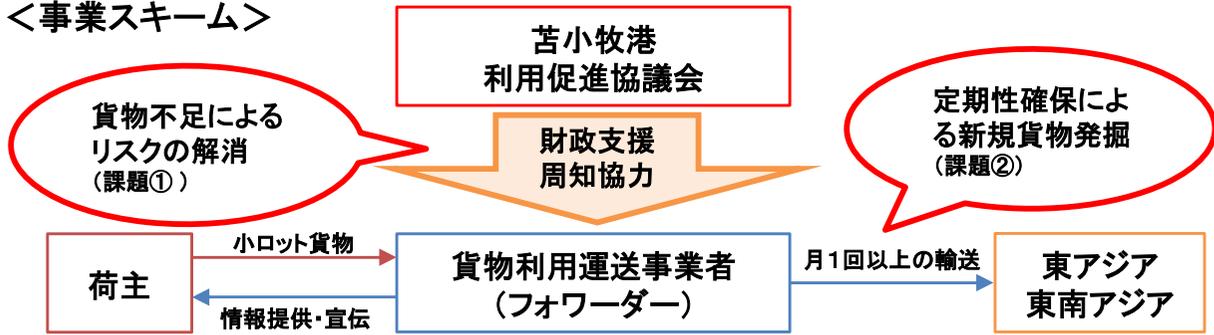
対象事業者 : 貨物利用運送事業者(フォワーダー)

支援対象 : コンテナ内の空きスペースに係る輸送料金(倉庫保管料等)

支援額 : 新規事業は最大500万円、継続事業は最大400万円

輸送条件 : リーファーコンテナを使用した苫小牧発の輸出コンテナ
北海道産農水産品・加工品を月1回以上輸送

<事業スキーム>



<輸送先> 赤: 苫小牧埠頭 青: ナラサキスタックス 緑: 栗林商会

